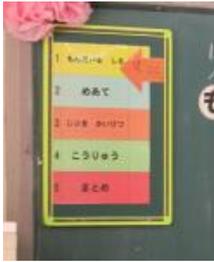


# どんどん使おう「ユニバーサルグッズ」

すべての子にとってありがたく、安心させてくれる物を「ユニバーサルグッズ」と名付け、豊野小教員でたくさん考え、作りました。これまでのグッズを積極的に活用すると共に、新たなグッズも考えましょう。



どこに、何を置くのかひと目でわかり、児童を迷わせない「場の構造化」。整理整頓された美しい教室は、ユニバーサルデザインの基本です。

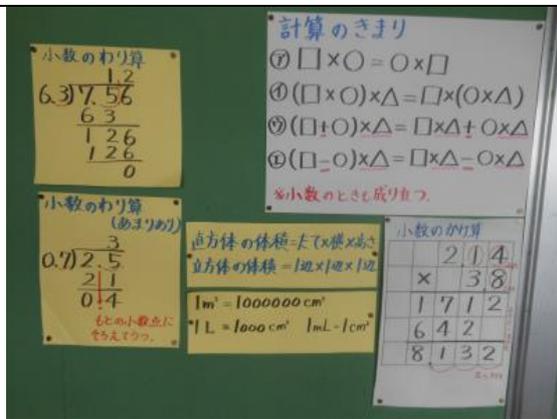


### 「今ここ矢印」

学習の進行場面がわかる。児童が見通しをもったり、やるべきことを見失わないようしたりする。



大型モニターを使って、視覚化する。



学習コーナーを教室脇に作り、いつでも既習内容を確認できる。必要に応じて取り外しや移動もできる。

### 個人名マグネット

名前の書いたマグネットを黒板掲示に使い、自分の立場や考え等がひと目でわかるようにする。



### ワークシート入れ



分類して入れることで、個人に応じたワークシートを取り出すことができる。



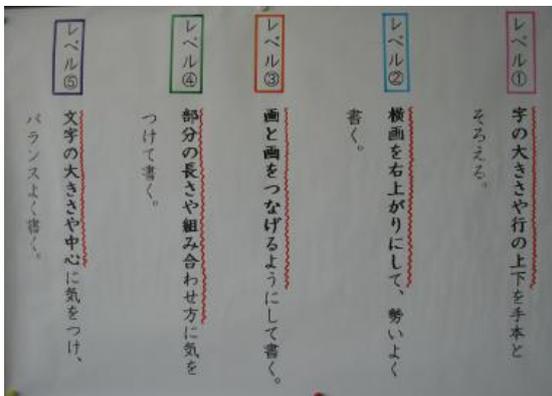
「開けてはいけません」と言い聞かせるだけでなく、目に見える工夫を。



硬筆のお手本を一行ずつカットしたものをめくり、常に手本がすぐ横に来るようにしている。



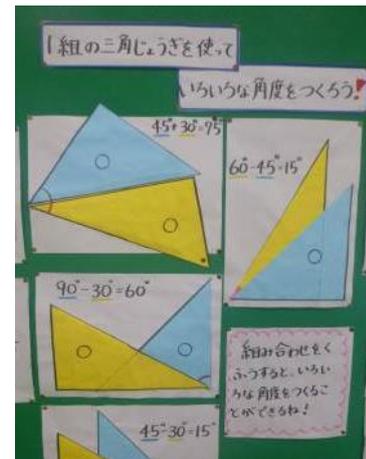
書きそめの指導では、物を散らかさず集中して書くため、1人分のマスを作って場の構造化をしている。



めあてのsmallステップ

レベルが上がる毎に難易度が上がる。自分に合っためあてを選ばせる。

色分けし、取り外しや移動が可能な三角定規を作り、見やすく提示している。



いつも意識させたいことは、掲示グッズを作っていつでも見せられるようにする。



一日の予定や授業の見通しを持たせるため、ホワイトボードの活用。



分担表は、イラストを入れて、見て楽しく、わかりやすく。やることが明確になるように細かく。



机上の整理のしかたも、イラストや写真でわかりやすく。

毎日のあいさつでも、「がんばりましょう」と言うだけでなく、数値目標を出す。



掲示物を工夫することで、意欲がさらに高まる。



タイマーやベルも、時間の構造化のために有効なグッズである。

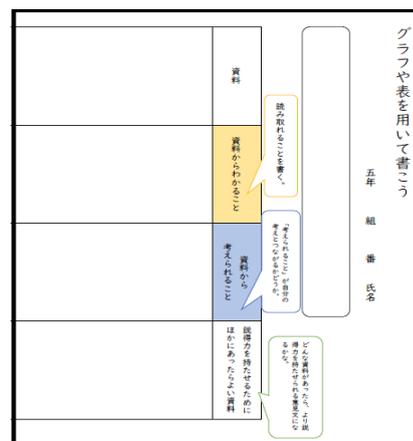


### 板書

ワークシート



いせんの色を合わせて、共有しやすくする。



学習のゴールを掲示して、児童にめあてと見通しをもたせる。